

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月1日

事業所名 Tomo de coco

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所室内を左右で静と動のスペースに分け、カーペットを色分けすることで構造化を図っています。また、バリアフリー構造になっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃・消毒により清潔維持に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝のミーティング、帰りの申し送りなどスタッフ間で情報の共有をしています。また、定期的にケース会議も実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様に事業所評価アンケートの他、休日イベントの内容についてもアンケートを実施し、事業所の質の向上に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社ホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は保護者様・社内の2者評価となっております。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討して参ります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画を策定し、職員の質の向上に努めています。また、外部講師による研修の機会も設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを取り、児童発達支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子様に応じた項目を設定し、計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に応じた支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合いをした上でプログラムを立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様の発達状況に応じて、必要なプログラムを追加・修正しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		1対1による個別指導、他者とのかかわりの中で成長を促す集団指導を適切に組み合わせた療育を展開しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングを行い、職員間での情報共有を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		お子様が帰った後、職員間での情報共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回指導記録をとることで指導内容や方法を検討しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直し・修正を行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には、児童発達支援管理責任者と参加が可能な職員は出席するようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子保健センターへ事業所の特徴や取り組みについて説明させていただき、理解していただけるよう努めております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		受け入れがありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		受け入れがありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援の事例はありませんが、移行することがあれば、支援内容などの情報提供をさせていただきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援の事例はありませんが、移行することがあれば、支援内容などの情報提供をさせていただきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		相談支援員とのモニタリングの際などに相談・助言を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公園で、障害のないお子様との交流があることもございます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	現在は協議会への参加などはございません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様のお迎え時、お子様の状況をお伝えしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	事業所内のペアレントトレーニングは行っておらず、県内関係機関の主催するペアレントトレーニング研修に参加出来るよう調整していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規程・利用者負担等について契約時にご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいた計画作成を行い、保護者様からの同意を得ています。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	毎回の支援終了時に、保護者様へのフィードバックを行っています。行き帰りとも、送迎を利用している方は毎回のフィードバックが出来ていないのが課題です。対策として、課題プリントに支援提供の内容を書いてお伝えすることもあります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在は行っていません。 また、機会を設ける予定ではあります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		個別相談の申し入れがあった際は、即座に日時設定をし対応をしております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「Tomo de cocoだより」を発行し、行事予定や連絡事項の発信をしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じた視覚的支援や情報伝達手段が出来るよう、状況把握に努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所内のイベントは、利用児童のみの参加であるが、地域のイベントは積極的に参加しております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、研修を実施しております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		全てのお子様に対し、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触がおこらないように注意しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、該当する方がいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起こった際は、報告書を作成し、職員間で周知しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルを作成し、年1回の研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束防止の為のマニュアルを策定し、年1回の研修を行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。